

Title	編集後記
Sub Title	
Author	斎藤, 英雄(Saito, Hideo)
Publisher	慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
Publication year	2015
Jtitle	慶應義塾大学DMC紀要 (DMC Review Keio University). Vol.2, No.1 (2015. 3) ,p.62- 62
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000002-0062">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000002-0062</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 編集後記

斎藤 英雄

慶應義塾大学 DMC 研究センター副所長 理工学部教授

慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構（DMC 研究機構）から、2010 年度に、現在の形である慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター（DMC 研究センター）として活動を開始してから、早いもので5年が経ち、新たな研究活動を展開してきました。まだ試行錯誤を繰り返している部分も多いですが、第2号となる本紀要では、次第に明確になってきた DMC 研究センターの目指すところや方向性をご紹介できる内容になっていると思っています。

2014 年度の DMC 研究センターは、「戦略的研究基盤形成支援事業」や、「スーパーグローバル大学創世支援事業」の支援も始まり、これから始まる 2015 年度に向けて更に新たな活動もスタートしようとしています。本紀要で紹介したこれまでの活動とともに、DMC 研究センターの今後の活動の発展にご期待ください。